

景気悪化により襲いかかる解雇・リストラ

2009年3月度の相談状況

1. 労働相談の概況

1) 相談者数・件数について

「資料1. 2009年3月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

3月の相談者数は100人で2月（153人）より減少していますが、2月の153人が特段に相談数が多かったこともあります。

相談項目数は171件、一人あたり1.71件となっています。

相談者数では前年同月（101人）と、ほぼ同数です。相談項目数では前年同月（154件）の11.0%と増加しています。

2) 男女別、雇用形態別相談者数

「資料1. 2009年3月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

男性57人（57.0%）、女性43人（43.0%）と男性が上回っており、雇用形態別では、社員43人、社員以外人53人、不明4人となっています。

社員以外では契約社員19.0%（男性11.0%、女性8.0%）、臨時16.0%（男性14.0%、女性2.0%）、パートが15.0%（男性1.0%、女性14.0%）となっております。

三つの相談者数で全体の50.0%です。

昨年からの社員の相談数が増えて過半数を占めていましたが、本年2月から非正規雇用者の相談が増えており、過半数を占めています。

3) 業種別相談者数

「資料1. 2009年3月、相談者数（雇用形態、男女別、業種別）より」

業種別相談数は、他業種に分散し、内訳は「卸・小売業・飲食店」20件（19.3%）、「その他サービス」14件（9.6%）、「医療・福祉・医薬品業」12件（8%）、「製造業」10件（16.1%）、「建設・設計・重機」9件（8%）が主な業種となっていますが、卸・小売業・飲食店の増加が著しい。

4) 相談項目（内容）について

「資料2. 2009年3月、労働相談（男女雇用形態別、相談内容別）より」

主相談項目別相談者数で10件以上の項目は「解雇・雇い止め・退職」(44件)、「残業手当、未払い」の18件を含む賃金関係(26件)、「就業規則・雇用契約」(14件)、「合理化・倒産・企業閉鎖」(10件)、「労働保険」(10件)、「経営問題、労務問題」(10件)となっており、トップの解雇関係で44%を占めています。

5) 違法率

「資料3. 2009年3月、労働相談（業種別、相談内容別）より」

171件中、違法件数は75件、違反率は43.9%で、前年同月より2.3%の増加となっており、前月よりは、3.64%の減少となっております。

上位項目は「解雇」(20件)、「月例賃金未払い」(10件)、「残業手当未払い」(8件)となっており、総違法件数75件に対して占める割合は、それぞれ26.0%、13.3%、10.6%で合わせて49.9%となっております。

2. 3月の雇用情勢

今月の相談者数は、前月と比べると大きく減少(153件から100件)していますが、2月が特段に相談数が多かったことにあり、前年比にみると、ほぼ同じ件数です。

昨年は、社員が相談者数の過半数を占めていましたが、今年の2月にはいり非正規雇用労働者の相談が増えており、過半数を占める状態となっております。

昨年末から、不況の深刻化のなかで派遣切り、期間工切りで非正規雇用がまっ先に犠牲になる状態がおきています。

非正規だけではなく正社員も厳しい労働実態が続いている状態は変わりません。景気悪化にともない倒産も増えており、労働者の使い捨て、解雇、リストラの嵐が襲い掛かってきています。

違法率も前年より増えており、職場の荒廃が進んでいます。

雇用形態を問わず、雇用が不安定となり、低賃金、劣悪な労働条件のうえに、さらに違法を強いられている実態は深刻です。

以上

【項目別参考資料】

1) 相談者数・件数について

資料1. 2009年3月 相談者数（雇用形態・男女別・業種別）

2) 男女別、雇用形態別相談者数について

資料 1 . 2009 年 3 月 相談者数 (雇用形態・男女別・業種別)

3)業種別相談数

資料 1 . 2009 年 3 月、相談者数 (雇用形態、男女別、業種別)

4)相談項目 (内容) について

資料 2 . 2009 年 3 月、労働相談 (男女雇用形態別、相談内容別)

5)違法率について

資料 3 . 2009 年 3 月、労働相談 (業種別、相談内容別)